

平成29年度 廿日市市被災者生活サポートボラネット 研修会 (再)

被災地支援から考える

# 「私たちにしかできない備え」

～避難所で問われる「自助力と受援力」～

大規模災害の被災地では「災害関連死」が大きな課題になりました。災害関連死を予防する為には、避難所での過ごし方が非常に重要です。

東日本大震災、広島豪雨災害、熊本県地震など多くの被災地で、看護師として避難所支援にあたって来られた経験から、被災地を支援する場合の「自立支援」についてお話しいただきます。また、私たちが日ごろ行っている福祉活動（サロンの実施、みまもり活動、各種ボランティア活動）に取り入れられる「視点と工夫」を学びます。

日時 平成29年12月4日(月) 18:30～20:30

場所 廿日市市総合健康福祉センターあいプラザ3階講座室  
廿日市市新宮1丁目13-1

講師 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院  
看護部副部長 認定看護管理者  
寺田 英子 さん

参加費 無料

定員 90人 (要予約)

申込締切 11月27日(月)

主催 廿日市市被災者生活  
サポートボラネット推進会議  
(事務局) 廿日市市社会福祉協議会  
廿日市市新宮1丁目13-1  
TEL0829-20-0294  
FAX0829-20-1616

廿日市市被災者生活サポートボラネットとは

災害時の「共助」(被災者生活サポートボランティア活動)をすすめるために協働するネットワークです。災害発生時、被災者生活サポートボランティア活動を行うため、市域の各関係機関・団体等と市行政及び廿日市市社協により支援活動体制を整え、被災者への支援活動を迅速に展開していくことを目的としています。

申込み お電話または申込書にご記入の上、事務局までご持参かFAXでお申し込みください。

## 申込書 (平成29年度廿日市市被災者生活サポートボラネット研修会)

所属	
氏名	
住所	
連絡先	